

令和6年度 山口大学における教育の内部質保証に関する自己点検・評価結果による改善事項及び改善策

●教育課程

No ()は大学機関別 認証評価の分析 項目番号	改善事項	対応状況及び改善案	計画の 進捗状況	推進責任者	改善策
1 (6-5-3)	一部の研究科において、さらなる在籍学生のニーズを踏まえた社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組が必要である。	一部の研究科において、留学生への対応が不十分と判断し、留学生に対し、キャリア形成の知識などを育成する取組を行う。	☐ 検討中 ☒ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()	副学長 (教育学生担当)	留学生への対応を充実させるため、留学生向けのキャリア形成の知識などを育成する取組を行うこと。
2 (6-8-1)	一部の学部・研究科において、修業年限×1.5年以内卒業（修了）率が基準に満たない年度がある。	学生ケア体制、修学支援指導体制、進路指導体制及び研究指導体制等の充実や研究の進捗の状況の定期的な確認等を行い改善に努める。	☐ 検討中 ☒ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()	副学長 (教育学生担当)	学生ケア体制、修学支援指導体制、進路指導体制及び研究指導体制等の充実や研究の進捗状況の定期的な確認等を行い改善に努めること。 特に学部においては、主要因である学生の休学・退学について、原因を分析した上で、適切な体制の充実を図ること。
3 (6-8-2)	教育学部において、学部が掲げる教員就職率の目標値に達していない。	教員就職率の向上のために、入学段階での意欲の高い学生の確保、在学生への教員意欲を高める支援などの対応をおこなう。	☐ 検討中 ☒ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()	副学長 (教育学生担当)	当該学部が主体となり、入学段階での意欲の高い学生の確保、在学生の教員意欲を高める支援等、教員就職率の向上のための対応を行うこと。
4 (6-9-1)	一部研究科において、収容定員を超過又は未充足となっている状況である。	基準を満たしていない研究科において、収容定員超過、未充足に対応するため、複数回の入試実施、広報の実施等の改善策を講じ、改善に努める。	☐ 検討中 ☒ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()	副学長 (教育学生担当)	複数回の入試実施、広報の実施等の改善策を講じ、収容定員充足率の適正化に努めること。

●学生支援・受入

No ()は大学機関別 認証評価の分析 項目番号	改善事項	対応状況及び改善案	計画の 進捗状況	推進責任者	改善策
1 (5-3-2)	一部研究科において、実入学者数が入学定員を大幅に超える又は下回っている。	大学院入試委員会にて報告された適正化を図る取組を行い、各研究科において、入学者数の適正化を図る。また、10 月入学の結果を踏まえ改めて状況を把握し分析をした上で報告すること。	☐ 検討中 ☒ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()	副学長 (教育学生担当)	大学院入試委員会にて報告された適正化を図る取組を行い、各研究科において、入学者数の適正化を図ること。

●教育設備 (ICT)

No ()は大学機関別 認証評価の分析 項目番号	改善事項	対応状況及び改善案	計画の 進捗状況	推進責任者	改善策
1 (3)	一部の学部教育用計算機システムの更新がされていない。	授業等は当該システムの更新が行われている他教室を代用して実施することで、支障がないようにしている。また、次期システム更新に向けて全学的な視点で更新の必要性を検討していく。	☒ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()	副学長 (情報化推進担当)	授業等は当該システムの更新が行われている他教室を代用して実施することで、支障がないようにすること。また、次期システム更新に向けて全学的な視点で更新の必要性を検討していくこと。
2 (4)	授業管理を支援するための教育用システム（修学支援システム）において、速度が極端に遅くなる不具合が発生した。	不具合の原因となっていたデータベースサーバのディスクを交換し、既に復旧している。	☐ 検討中 ☐ 対応中 ☒ 対応済 ☐ その他 ()	副学長 (情報化推進担当)	